

令和4年度教育課程研究集会
小学校 社会

社会科の指導における 「主体的・対話的で深い学び」の 実現に向けた授業改善について

令和4年8月

奈良県教育委員会事務局

学ぶ力はぐくみ課 義務教育指導係

指導主事 野瀬 彰

本日の内容

- 1 社会科における「主体的・対話的で深い学び」
- 2 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業
- 3 田原本町立田原本小学校 中本篤志先生の実践発表

1 社会科における「主体的・対話的で深い学び」

なぜ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必要か。

授業の方法や技術の改善

のみを意図するものではなく

社会科で目指す資質・能力を育むため

社会科の目標

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な**公民としての資質・能力**の基礎を育成する。

(小学校学習指導要領)

社会科で育成する資質・能力

学びに向かう力、人間性等

主体的に学習に取り組む態度と、多角的・多面的な考察や深い理解を通して涵養される自覚や愛情

社会的事象等に関する理解などを図るための知識と社会的事象等について調べまとめる技能

知識及び技能

社会的事象等の意義や意味、特色や相互の関連を考察する力、社会に見られる課題を把握して、その課題に向けて構想する力や、考察したことを説明する力、それらを基に議論する力

思考力、判断力、表現力等

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

(小学校学習指導要領)

「社会的な見方・考え方」

社会的事象を

- ◇位置や空間的な広がり
- ◇時期や時間の経過
- ◇事象や人々の相互関係に着目して捉え

視点

- ◆比較・分類したり、
- ◆総合したり
- ◆地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること。

方法

社会科の学習活動

三つの柱に沿った資質・能力を育成するためには、**課題を追究したり解決したりする活動の充実**が求められる。社会科においては従前、**小学校で問題解決的な学習の充実**、中学校で適切な課題を設けて行う学習の充実が求められており、それらの趣旨を踏襲する。

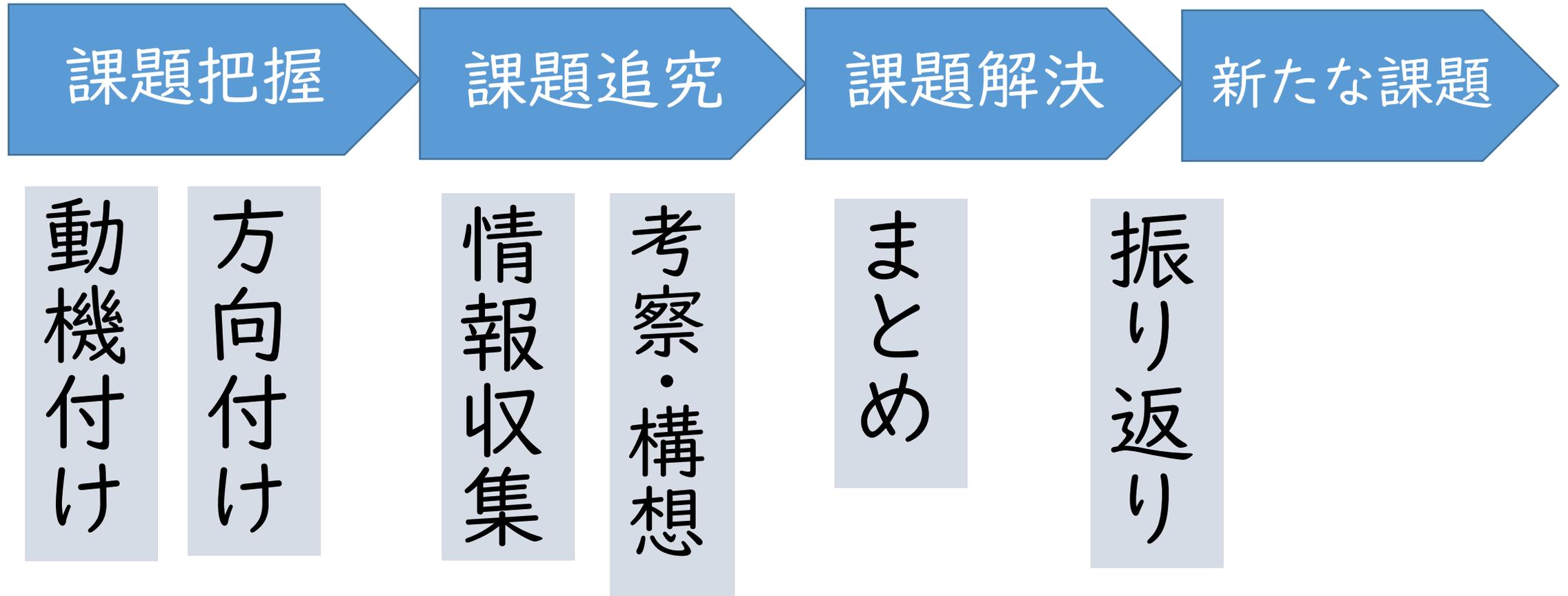
(小学校学習指導要領 解説 社会編)

問題解決的な学習における学習過程

そうした学習活動を充実させるための学習過程の例としては、大きくは課題把握、課題追究、課題解決の三つが考えられる。また、それらを構成する活動の例としては、動機付けや方向付け、情報収集や考察・構想、まとめや振り返りなどの活動が考えられる。

(小学校学習指導要領 解説 社会編)

問題解決的な学習における学習過程のイメージ



「主体的・対話的で深い学び」の実現

2 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業

「主体的な学び」の視点

- 児童が学習問題を把握し、その解決への見通しをもつことが重要である
- 単元等を通じた学習過程の中で動機付けや方向付けを重視する
- 学習内容・活動に応じた振り返りの場面を設定し、児童の表現を促す

「対話的な学び」の視点

- 様々な場面で児童相互の話合いや討論などの活動を一層充実させる
- グループによる活動が、内容を深める学びにつながるよう留意する必要がある
- 様々な対話
 - 児童と児童 児童と教員
 - 資料を通じた自己内対話 など

「深い学び」の視点

- 「社会的な見方・考え方」を働かせ、学習問題を追究したり、解決したりする活動を重視する
- 用語、語句などを含めた個別の事象等に関する知識
 - 社会の中で汎用的に使うことのできる**概念等**
に関わる知識の獲得へ

授業改善の留意点

- ・1回1回の授業で、「主体的・対話的で深い学び」の全てが実現されるものではない
- ・単元や題材など内容のまとまりの中で、「主体的・対話的で深い学び」につながる学習場面を組み立て、実現を図る

授業改善に向けた工夫の例

- ICTの効果的な活用
- 身近な地域の教材の活用

(参考) 奈良県教育委員会作成 「郷土学習の手引」

<https://www.pref.nara.jp/49481.htm>

- 新聞や公的機関が発行する資料の活用
- 博物館や資料館、図書館の活用

等

→ 児童の知的好奇心を高め、学習への動機付けや学習の深化を図ることにつながる

3 田原本町立田原本小学校 中本篤志先生の 実践発表

まとめ 中本先生の実践発表より

中本先生の実践における取組

主体的な学び	身近な地域の遺跡を活用し動機付けを行う 疑問をもつ 予想を行う 見通しをもつ 振り返りを行う
対話的な学び	子どもたちの話合い ゲストティーチャーとの対話、資料との対話
深い学び	「社会的な見方・考え方」を働かせて、問題解決的な学習を行う

社会科の資質・能力の育成を目的とした「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践